3つのポリシー

Diploma Policy　ディプロマ・ポリシー

（卒業認定・専門士授与に関する方針）

本校では以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を取得した学生は、卒業が認定されます。

卒業の認定に関する前提について

前提として、「いかなる知識・技術も、それを活用する人間によって有意か否かが決まる」。
社会人になる前の最終学歴と位置づけ「育成段階」での最終フェーズに入り、その教育目標の象徴を**「自立」**とし、以下に挙げる**「精神的自立」**、**「経済的自立」**、**「社会的自立」**を身につける。

●精神的自立

1. 育て守られる立場から卒業し、自身、および自身に関連する事柄に関して正確に理解・判断し行動するための知識や問題解決能力を身につけている。
2. 自身の可能性に希望を持つことができ、自身の役割を認識し主体的に問題を解決することができる。
3. 自身の力が及ばない事例にあっても、一人で抱えることなく、他者の協力を得るなどして、解決へ導くことができる。

●経済的自立

1. 社会人として自身を活かす職業に出会い、プロとしての誇りを持って職場に貢献できる。
2. 社会人としてスムーズなスタートを切るためにも、即戦力となれるよう、専門教育や現場実習等の実務教育による実践力を身につけている。
3. 安定を社会や職場に求めるのではなく、自身の強みを活かし、貢献する術を持つことで、安定的な収入を得ることにつなげる。
4. 「シンギュラリティー（技術的特異点）」の観点から、これまでに無い働き方を求められる世代である。時代の変化に対応できる柔軟性を持ち合わせる。
5. 「プランドハップンスタンス理論」に基づくキャリア感覚が不可欠である。目先に捉われることなく長期的な視野を持ち、自身の役割を果たすことが、想定外の新たな道を切り開く。

●社会的自立

1. 自身を社会の一員として自覚し、その行動が社会とのつながりのなかで、他者を助け双方に利益をもたらすことができる。
2. 社会のルールを守り、世の中から孤立することなく居場所を持つことができ、他者との関わりやつながりを通して調和を保てる。